

【学生による ESD 活動支援】

奈良市富雄第三小中学校 第1回ユネスコ委員会 支援報告書

理科教育専修 学部2回生 種瀬史歩

1. 日時 平成30年4月19日(木) 14:00~16:00
2. 場所 奈良市富雄第三小中学校 第一理科室
3. 参加者 理科教育専修 学部2回生 種瀬史歩
4. 内容
 - (1) ユネスコ委員会の説明
 - (2) 前期役員の選出
 - (3) 自己紹介
 - (4) グループ分け(ビオトープ班・国際交流班)

5. 活動支援報告

奈良市富雄第三小中学校では昨年度、ユネスコ委員会が設立され、1年間、奈良教育大学ユネスコクラブがその活動の支援に関わってきた。

今回は今年度最初のユネスコ委員会の活動であったため、主な活動内容は、①ユネスコ委員会の説明や自己紹介、②前期役員の選出、③グループ分けであった。それぞれの活動について感じたことを以下にまとめる。

一つ目の先生からのユネスコ委員会の説明については、日常生活に置き換えて話しておられたため大変わかりやすく、多くの児童生徒が頷いて話を聞いていたのが印象的だった。

二つ目の前期役員の選出については、委員長の立候補が中学部では7年生から2人、9年生から1人、小学部では4年生から1人、6年生から1人と、積極的に手を挙げていたため、立候補のみでスムーズに委員長、副委員長、書記が決まった。総じて、委員長などを決める時に学年関係なく多くの立候補者がいたり、自己紹介の時に「去年の活動が良かったので今年もユネスコ委員会にしました」という子が多かったりと、今年のユネスコ委員会のメンバーの積極性はユネスコ委員会をさらに活発にしてくれそうだと強く思った。

三つ目のグループ分けについては、少し不安に感じたことがあった。それは、国際交流班とビオトープ班に分かれる際に、ビオトープ班がかなり人気で、国際交流班に入りたいという人があまりいなかったことである。だからこそ、今年の国際交流班は、活動が前に進みにくいことも多いかもしれないと、少し不安になった。しかし、その時に私たち学生がサポートすることが、児童生徒にとって、より良い方向に導かれるのでは、とも思ったので、これから積極的に児童・生徒と関わっていききたい。

2年目の委員会活動のスタートとして、私たち学生も気持ちを新たに、積極的に関わりたい。



先生から説明を受ける児童生徒



学年ごとの話し合いの様子